

富士宮西ロータリークラブ会報

Rotary



石川 俊洋 会長

国際ロータリークラブ第2620地区 2024-2025年度

RI 会長 ステファニー A. アーチック

会長 石川 俊洋 幹事 大谷 裕也

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間

事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>

TEL 0544-28-1126 FAX 0544-25-8182 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.26 通算 1597 号 2025 年 3 月 14 日(金)

♪Rotary Songs 奉仕の理想

ゲスト・ヴィジター

富士宮サッカー協会副会長 京角 好美 様

会長挨拶 会長：石川 俊洋 君

皆様こんにちは、本日はゲスト卓話に富士宮サッカー協会から副会長様がおいでくださいました。後ほど卓話の程よろしく願いいたします。

さて、富士宮市の『富士山火山避難計画』がこの3月に改訂されました。これに伴い自主防災組織の関係者を対象に危機管理局が説明会を開催しました。私も8日の土曜日に出席してきました。

今回の改定は富士山噴火に伴う融雪型火山泥流の事前避難対象区域を示した他、噴火避難の対象区域と、避難先の組み合わせについて明確にした避難計画となっています。富士山の火山噴火については、2000年からの低周波地震などが多発したため、富士山が活火山だったと再認識されたことをきっかけに内閣府の富士山火山防災協議会よりハザードマップが作成され、予防から復興までの基本方針がマニュアル化されています。それに基づいて富士宮市でも『富士山火山避難計画』を作成し、何度か改定しながら今に至っていますが、今回は、避難手段・避難開始時期・避難エリアを細分化して、かなり細かな避難計画が一枚の紙に印刷されていました。

説明を聞いていますと、私の住む阿幸地区は積雪のある時期と、無い時期によっても避難エリアが区内でも分かれてしまったり、避難場所も変わってきたりとなかなか厄介で把握するのにかなりの時間がかかると

感じました。

役所の方でも出前講座の開催もしてくれるそうですが、いざ噴火となると富士山も頂上から噴火するわけではなく、どこから噴火するかわかりませんし、溶岩流も噴火する位置が近ければ到達時間が早くなります。桜島のようにてっぺんから年中噴煙を上げているわけではないので、こればかりはマニュアルのようにすんなりと避難できるわけではないでしょう。

今週は3.11 東日本大震災の14年目の週でもあり先日起こった大船渡市の山火事も鎮圧したばかりで、14年前に被災し、津波を恐れ山の高台に家を建てた人たちが再び被災してしまいました。

能登半島地震で被災した人たちも昨年の大増水で再び被災し、本当に災害とは、いつ、なんどき起きるのかわかりません。

現代社会では、マニュアルというのは大切なものだと思いますが、災害避難では絶対マニュアル通りに事が運ぶことはありえないことと思いますし、マニュアルが細かくなればなるほど一般の人達には、理解が難しくなりそれに加えて地震などの災害と、避難計画が異なるので果たしてどれだけの市民が理解できるのだろうか心配になります。

昨年、能登半島地震の水道復旧で帰還し、感じたことを市の人たちと話したが、今後の防災マニュアルにもそういったことが反映されるのを期待します。

幹事報告

幹事 大谷 裕也 君

*別紙幹事報告書参照

【会報委員会】 委員長：加藤康雄 委員：片岡博昌 宇佐美量三 渡邊奈津実 近藤千佳

出席報告

	会員数	計算 会員数	出席	欠席	M U	比率
今週	18	16	14	4	0	87.5%

欠席者：※遠藤壽男君、※外木規之君、近藤憲司君、
近藤千佳さん

本日のお祝い

結婚記念日：岡村吉彦君
(S58.3.26)



スマイル

○先日は創業記念などを祝って頂きました…加藤康雄君
○久しぶりの出席です。今日はホワイトデーです

…貫名英舜君

○お祝いありがとうございます

…岡村吉彦君

○京角様、本日はよろしくお祈いします

…石田道彦君

○富士宮サッカー協会副会長様、本日は卓話よろしく
お祈いします

…若林眞治君

卓話

富士宮サッカー協会副会長 京角 好美 様

富士宮サッカー協会に40年以上携わっており、本日の
卓話は今までの活動をわかりやすく数字を基にお話して
くださいました。



1 近年の富士宮サッカー競技人口の推移

・少年団登録の推移と課題

464名(H21)→316名(現在)

15年前と比較すると6割程に減少。最高500名程の
登録があった時期もあり、コロナ期には250名まで
落ち込んだ。

・中学部の推移と課題

10校267名(H21)→4校143名(現在)

部員が集まらずクラブチームへ移行する動向である。

・その他(高校、社会人、東部支部登録状況)

2 富士山カップの開催状況(過去39回開催)

※1986年第1回開催

・過去の参加状況と現在の課題、問題点(地球温暖
化にみる夏季の活動の制限と開催時期等)

のべ1965チーム、38664名が参加。

2500~3000万円程の経済効果が見込まれている。

3 サッカー協会の国際交流事業の変遷

派遣7回 受け入れ11回

・アメリカ・サンタモニカ高校部海外遠征(2回)

・富士山カップ記念大会招待5回と課題

・韓国、榮州市少年、中学部、社会人遠征試合(4
回)と富士山カップ招待(3回)の状況と課題

・ブラジル・サンパウロとの交流事業

過去の修好交流事業(平成8年1月ブラジル修好
100周年記念事業)

・平成8年3名(中学生2名・高校生1名)の短期ブ
ラジル留学

・スペイン・バルセロナFC少年の大会の記録(静岡
世界少年サッカー大会)

4 中学サッカー部活の地域連携と地域移行への取り 組み状況

2028年度部活完全地域移行について(現状)

令和6年度 富士宮市部活移行検討委員会の試行状況
卓球(三中・根南中)・剣道(根南中)・吹奏楽(四中)

5 少年団活動と各団体の支援と意義について

年間活動の前期事業と後期事業の意義等

富士宮市での二大サッカー大会は、年度始めのライオ
ンズと県大会予選の西ロータリー大会であります。今
後もサッカー協会・ロータリー共に無理のない範囲で
細く長く活動を続けていけたらと卓話を結ばれました。

